





壮大な寺院の跡
備中国分尼寺跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	びっちゅうこくぶんにじあと
所在地	総社市上林・宿
指定年月日	大正11年10月12日
解説	備中国分僧寺跡の東約700mに位置し、寺域は東西約108m、南北約216m。南門、中門、金堂、講堂跡が一直線につづく伽藍配置。延元元年(1336)の兵火で焼かれたという。赤松林の中の礎石が、当時の伽藍配置をしのばせる。
アクセス方法	JR総社駅から車10分、風土記の丘駐車場から徒歩5分
公開状況	自由
設備	風土記の丘駐車場利用可能 駐車場  トイレ  障害者用駐車場  障害者用トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	備中国分尼寺跡
よみかた	びっちゅうこくぶんにじあと
しょざいち (所在地)	総社市上林・宿
していたひ (指定した日)	大正11年10月12日
せつめい	東西(とうざい)およそ108メートル、南北(なんぼく)およそ225メートルもの広さのともりっぱなお寺(てら)がありました。西暦(せいれき)1336年に戦(いくさ)で焼(や)かれてしまい、建物(たてももの)の土台(どだい)だった石が残(のこ)っています。